



# 施工完了 チェックシート

◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

確認日	年 月 日
確認者	

1□から7□を  
 チェック

**1**  クイックファスナーを正しく取り付けていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張つても抜けないこと。

\* クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。  
再度、取り付け手順に従ってください。

**2**  止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いてないと洗浄強さが得られないことがあります。

**3**  水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

\* 施工後および水抜き後の初回運転のみノズルの左（逃がし水口）から出る水は、水圧調整の逃がし水で故障ではありません。

**4**  電源は入っていますか

- 電源ランプは点灯していますか。

お願い ● 試運転は、必ず行ってください。【P.18】

**5**  リモコンを正しく取り付けていますか

- 直射日光や他の機器の熱の影響を受けやすい場所への取り付けは避けてください。
- リモコンは赤外線で信号を送信しています。天井との間に棚などの障害物がないか確認してください。

**6**  着座センサーは正常に働きますか

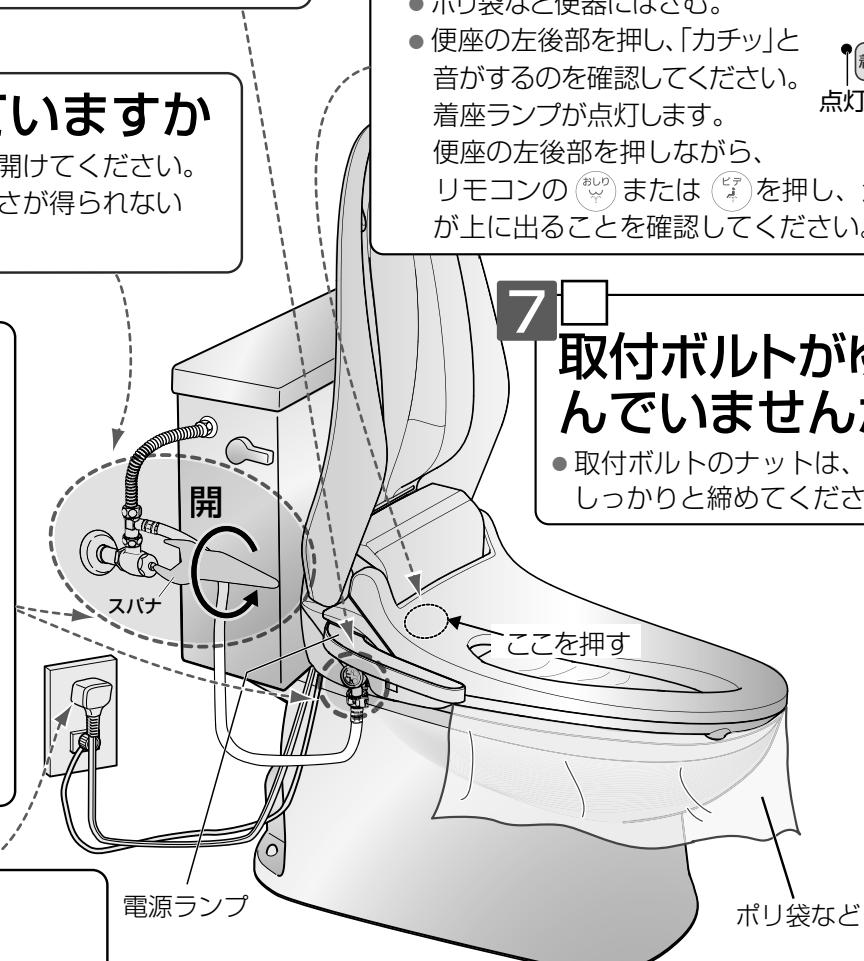
- ポリ袋など便器にはさむ。
- 便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。着座ランプが点灯します。

着座ランプ  
点灯

便座の左後部を押しながら、リモコンの または を押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。

**7**  取付ボルトがゆるんでいませんか

- 取付ボルトのナットは、手でしっかりと締めてください。



配管方法などはイラストと異なる場合があります。

パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナー事業部

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2019

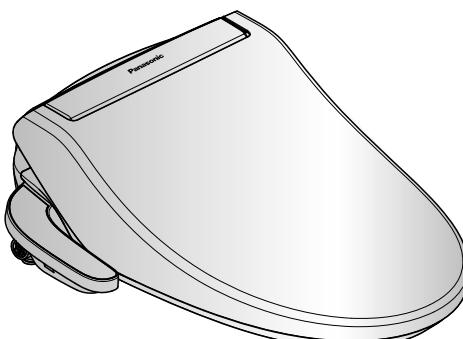
Panasonic®

## 施工説明書

温水洗浄便座 家庭用

品番 DL-RN40  
DL-RN20

### ビューティ・トワレ



ページ

<b>1</b>	● 安全上のご注意.....	2
	● 施工の前に.....	3
	● 各部の名前と同梱部品の確認.....	4
<b>2</b>	● 施工の流れ.....	6
	● 止水栓を閉める.....	8
	止水栓がある場合 止水栓がない場合	
	● 分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける	9
	初めて温水洗浄便座を取り付ける場合	
	既設の温水洗浄便座から取り替える場合	10
<b>3</b>	● 本体を取り付ける.....	12
	● 給水ホースを本体に取り付ける.....	13
	● アース線の接続 ● 止水栓を開ける.....	14
	● クッションを取り付ける.....	14
	● リモコンを取り付け、電源を入れる.....	15
	● ひとセンサーを取り付ける.....	16
<b>4</b>	● 試運転.....	18
<b>5</b>	● こんなときは.....	19
	● 施工完了チェックシート.....	裏表紙

準備

施工

取付

試運転

確認

パナソニックホームページで  
取り付け手順を動画で公開しています。  
[panasonic.jp/toilet/](http://panasonic.jp/toilet/)



ADL944PZGQCO  
CS0419-0

# 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## ! 警告



■ 電源コード、電源プラグを  
破損するようなことは  
しない  
(傷んだまま使用すると、感電や  
ショートして火災の原因)

■ 傷んだプラグ・ゆるんだ  
コンセントは使用しない  
(感電や発熱による火災の原因)

■ ぬれた手で、電源プラグの  
抜き差しはしない  
(感電の原因)

■ 上水道以外には接続しない  
(ぼうこう炎や皮膚の炎症  
などを起こす原因)  
(腐食や異物付着による  
水漏れの原因)

■ 電池は誤った使い方を  
しない  
●  $+$ と $-$ を逆に入れない  
● 新・旧、電池や違う種類の電池  
と一緒に使わない  
● 被覆のはがれた電池は使わない  
(液漏れ・発熱・発火・破裂  
などを起こし、火災や周囲  
汚損の原因)

■ バスルーム内など湿気の  
多い場所には設置しない  
(感電や火災の原因)



■ D種接地工事を行う  
(アース工事がされていないと、  
漏電のときに感電する原因)

■ 電源プラグは根元まで確実に  
差し込む  
(差し込みが不完全ですと、  
感電や発熱による火災の原因)

■ 施工は、施工説明書に従って  
確実に行う  
(説明書に従って行わないと、  
水漏れ、火災、感電の原因)

■ 施工は、必ず同梱部品および  
指定の部品を使用する  
(指定の部品を使用しないと、  
水漏れ、火災、感電の原因)

■ 電気工事は、内線規程に従つ  
て施工する  
(内線規程に従わないと、  
火災、感電の原因)

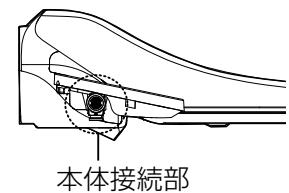
■ 定格15 A・交流100 Vの  
コンセントを単独で使う  
(他の機器と併用すると、  
発熱による火災の原因)

■ コンセントのアース端子に  
アース線を取り付ける  
(アース工事がされていないと、  
漏電のときに感電する原因)

## ! 注意



■ 本体接続部は、  
落下等でストレス  
をかけない  
(ストレスをかけると  
割れが発生し、  
水漏れの原因)



■ 水道工事などは、  
市町村の水道条例  
に基づいて行う  
(条例に基づいて行わ  
ないと、水漏れの  
原因)

■ 移動や施工時、  
本体を持つ  
(便座・便ふたを持つ  
と本体から外れ、  
けがをする原因)

# 施工の前に

### お願ひ

- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから施工してください。
- 必ず同梱の給水ホース分岐金具付をご使用ください。
- 既設の温水洗浄便座から取り替える場合は、既設のひとセンサー・リモコンは必ず取り外してください。  
(干渉して誤動作します)

### お知らせ

- この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがあります。故障ではありません。
- 使用水圧範囲は49~735 kPa{0.5~7.5 kgf/cm<sup>2</sup>} です。
- 本体は2本の取付ボルトと、前の片側の脚ゴムの3点で支える構造です。便座が浮いた状態で、便座の強度に問題ありません。【P.18】
- 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。販売店にご相談ください。
- ご自宅のトイレがアラウーノV便器の場合、アラウーノV用パッキンセットが必要です。(品番:DL502S-S6CS0)

## ■ 給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは300 mmです。

フレキシブルパイプは切断しないでください。

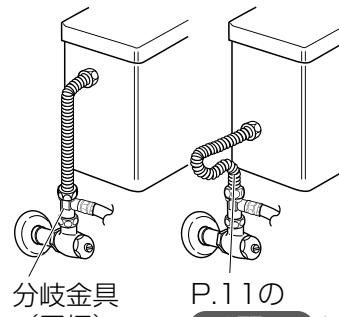
右図のA寸法が、約150~330 mmの場合は、取り付けできます。  
上記以外で②③の場合は、部材購入が必要です。

同梱のフレキシブルパイプ(給水管)



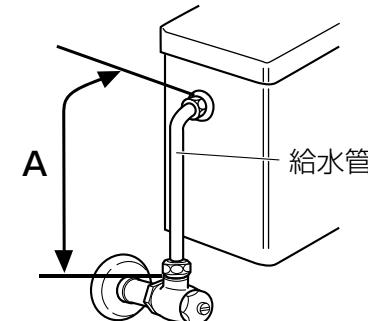
①A寸法が約150~330 mmの場合  
mmの場合の施工例

別売品またはホームセンターなどで市販品を  
購入してください。

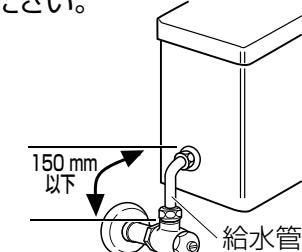


	フレキシブル パイプの長さ	品番
別売品	250 mm	☆ AD-HS25B
	350 mm	☆ AD-HS35B
	400 mm	☆ AD-HS40B
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を 購入してください。

☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。



③給水管が短い場合  
A寸法が約150 mm以下ではフレキシブルパイプが曲げられず、取り付けられません。また、給水管にストレーナー(フィルター)がある場合や外れない場合も同梱のフレキシブルパイプは使えません。この場合、P.9を参照してください。



## ■ リモコン、ひとセンサー(DL-RN40のみ) 取付位置の確認

リモコン、ひとセンサーを取り付ける位置は、P.15~17を参照してください。

## ■ ご準備いただくもの



メジャー



プラスドライバー



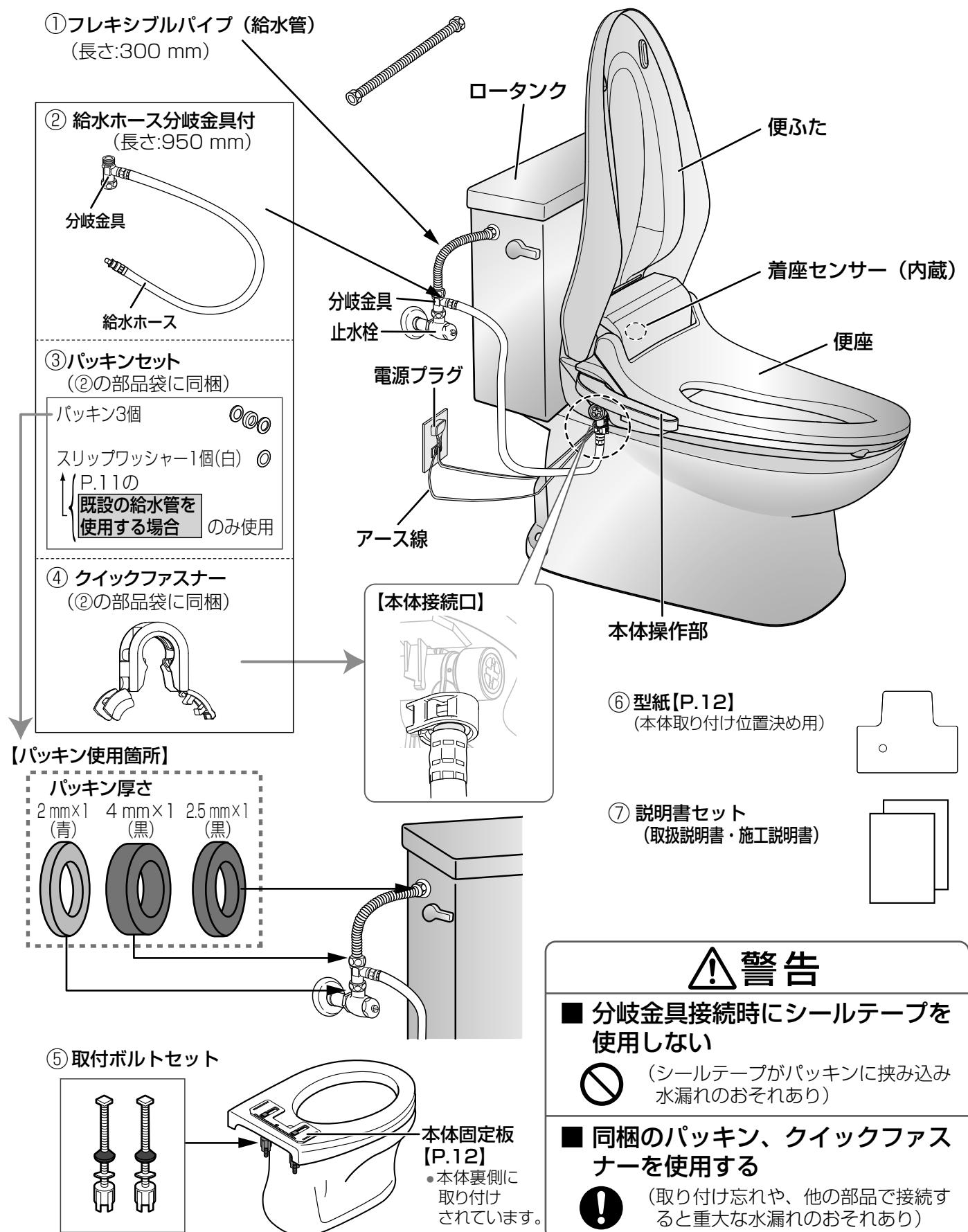
モンキーレンチ



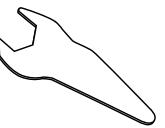
バケツ・ぞうきん

# 各部の名前と同梱部品の確認

施工方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。



⑧ スパナ

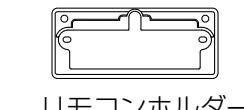


⑨ クッション  
[DL-RN40のみ  
⑯の部品袋に同梱]



〈リモコン用〉

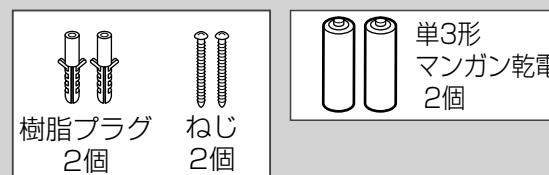
⑩リモコンセット



リモコン

リモコンホルダーはリモコンにセットされています。

⑪取付ねじセット



⑫乾電池セット



単3形  
マンガン乾電池  
2個

〈ひとセンサー用〉 (DL-RN40のみ)

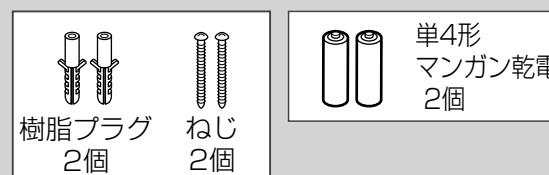
⑬ひとセンサーセット



ひとセンサー  
ひとセンサー  
ホルダー  
両面テープ

ひとセンサーはひとセンサーにセットされています。

⑭取付ねじセット



⑮乾電池セット



単4形  
マンガン乾電池  
2個

お知らせ

●操作音について(便ふた・便座開閉はDL-RN20を除く)  
「ピッ」 →各スイッチを押したとき、  
ひとセンサーが入室を検知したとき

「ピー」 →停止スイッチを押したとき、  
各スイッチの「切」設定時

「ピピピ」 →操作を受け付けないと  
(洗浄は着座しないと受け付けません)

【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。  チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	フレキシブルパイプ(給水管)	1	<input type="checkbox"/>
②	給水ホース分岐金具付	1	<input type="checkbox"/>
③	パッキンセット (パッキン薄い黒2.5mm厚さ×1) パッキン青2mm厚さ×1 パッキン厚い黒4mm厚さ×1 スリップワッシャー(白)×1	1	<input type="checkbox"/> (②の部品袋に同梱)
④	クイックファスナー	1	<input type="checkbox"/> (②の部品袋に同梱)
⑤	取付ボルトセット	1	<input type="checkbox"/>
⑥	型紙	1	<input type="checkbox"/>
⑦	説明書セット 取扱説明書 施工説明書	1	<input type="checkbox"/>
⑧	スパナ	1	<input type="checkbox"/>
⑨	クッション (DL-RN40のみ) ⑯の部品袋に同梱	1	<input type="checkbox"/> (⑯の部品袋に同梱)

⑩	リモコンセット (リモコン リモコンホルダー)	1	<input type="checkbox"/>
⑪	取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>
⑫	乾電池セット(単3形マンガン乾電池)	1	<input type="checkbox"/>

⑬	ひとセンサーセット (ひとセンサー ひとセンサー ホルダー 両面テープ)	1	<input type="checkbox"/>
⑭	取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>
⑮	乾電池セット(単4形マンガン乾電池)	1	<input type="checkbox"/>

部品名	部品品番	数量
別売分岐水栓・キャップセット 【P.9】 (分岐水栓 キャップカバー キャップA(大) パッキン大 黒2.5mm厚さ×1) 説明書	ADL531A-B4JS	1

※部品品番は予告なく変更することがありますのでご了承ください。  
上記別売品は、配管の状態によって必要な場合があります。販売店でご購入ください。

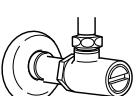
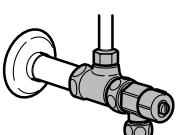
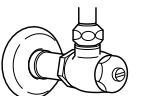
# 施工の流れ

パナソニックホームページで  
取り付け手順を動画で公開しています。  
[panasonic.jp/toilet/](http://panasonic.jp/toilet/)

## 止水栓を閉める

P.8

止水栓がある場合

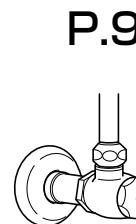


\*床面に止水栓  
がある場合  
もあります。

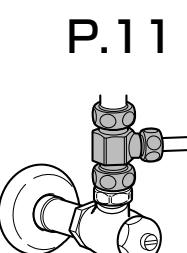
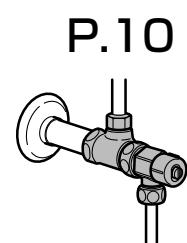
P.8

止水栓がない場合  
フラッシュバルブの場合

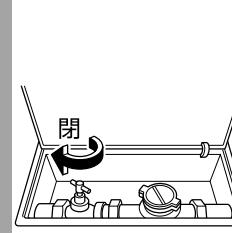
初めて温水洗浄便座を取り付ける  
(給水管が短い場合)



既設の分岐栓が右歯タイプ  
既設の温水洗浄便座から取り替える場合



専門業者に依頼する



水道元栓

P.9

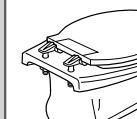
P.9

P.10

P.11

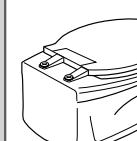
P.12

下からナット締めができる便器の場合



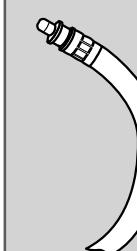
P.12

下からナット締めができない便器の場合



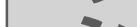
P.13

給水ホースを本体に取り付ける



P.14

アース線の接続／止水栓を開ける／クッションを取り付ける



P.15

リモコンを取り付け、電源を入れる



P.16

ひとセンサーを取り付ける



P.18

試運転

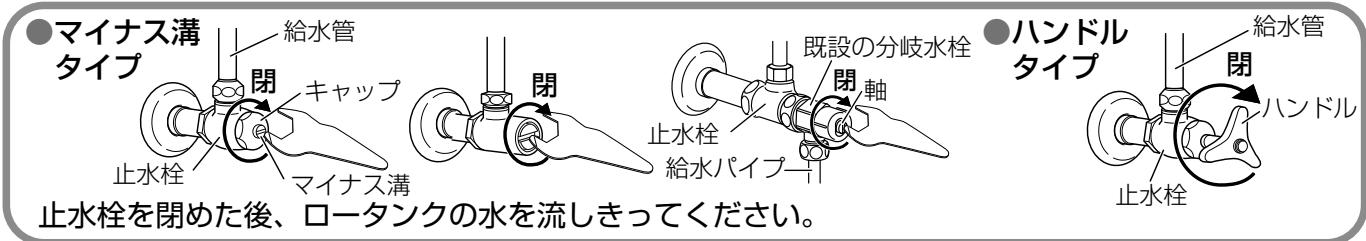
裏表紙

施工完了アチェックシートで確認する

施工

# 止水栓を閉める

## ■止水栓がある場合



P.9~11

## 分岐金具を取り付ける

## ■止水栓がない場合 → 施工については専門業者に依頼してください

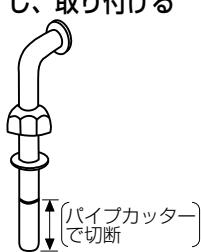
### 分岐金具を取り付ける

〈分岐金具の締め付け方〉  
→ [P.9]

★は、同梱部品です。  
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。  
⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。

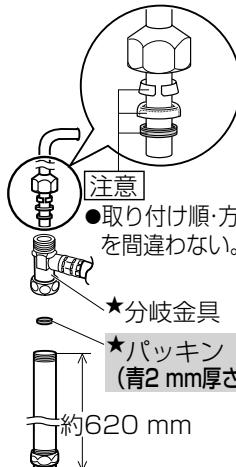
寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

- 1 水道の元栓を閉める
- 2 市販の給水管を手配し、取り付ける



分岐金具への差込部は約10 mmを必ず確保する。

- 3 市販の給水管に分岐金具を取り付ける



○取り付け後、水道の元栓を開けてください。

P.12

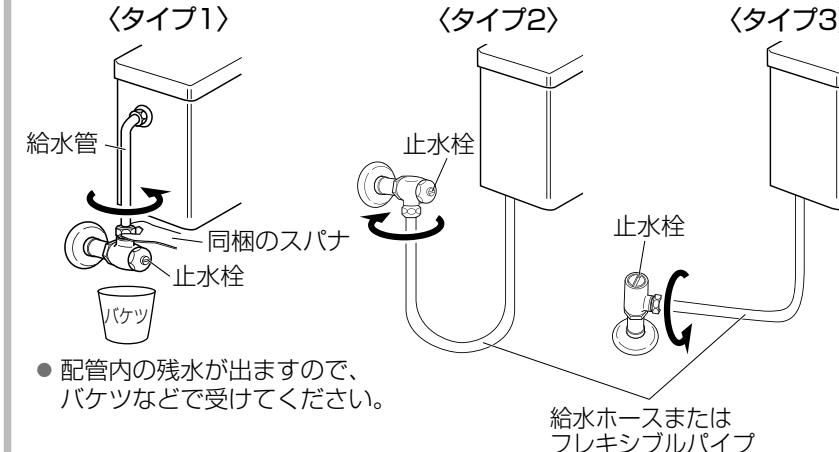
## 本体を取り付ける

## 初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

# 分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

★は、同梱部品です。 ⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。

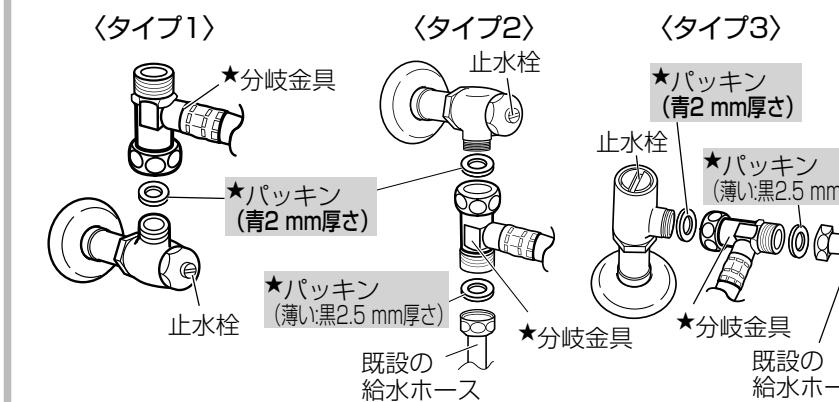
- 1 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管(給水ホースまたはフレキシブルパイプ)を外す



●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けしてください。

- 2 分岐金具を止水栓に取り付ける

〈分岐金具の締め付け方〉 → 下記参照

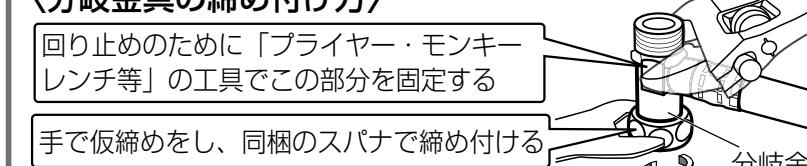


●タイプ2、3の場合は同梱のフレキシブルパイプは使用しません。既設の給水ホース(フレキシブルパイプ)を使用してください。ただし、既設のパッキンは使用せず、同梱のパッキンを使用してください。

〈タイプ1の場合〉

- P.11  
2 給水管の取り付け

### 〈分岐金具の締め付け方〉

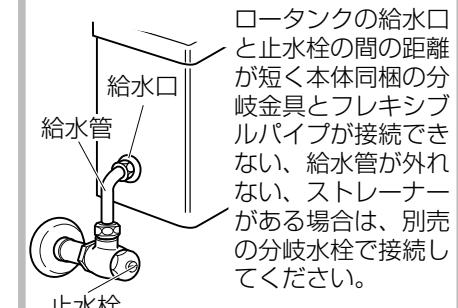


締付トルク: 10~15 N·m{100~150 kgf·cm}

(指定場所以外を工具で固定したり、給水ホースを持って締め付けない)

〈タイプ1〉において  
給水管が短い場合、給水管が外れない場合、給水管にストレーナー(フィルター)がある場合(外ねじタイプの止水栓の場合)は取り付け可能)

下記の別売品を販売店で購入してください。

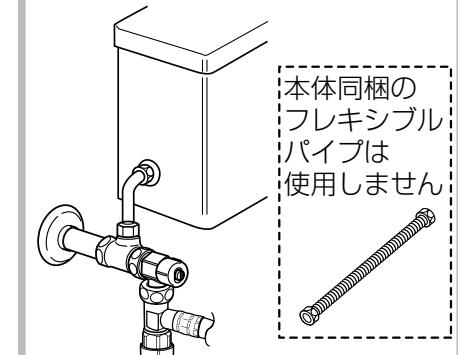


〈⊕別売品〉  
別売分岐水栓・キャップセット  
(品番: ADL531A-B4JS)



説明書 1枚

参考図(接続後)



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

〈タイプ2、3の場合〉

- P.12  
2 本体を取り付ける

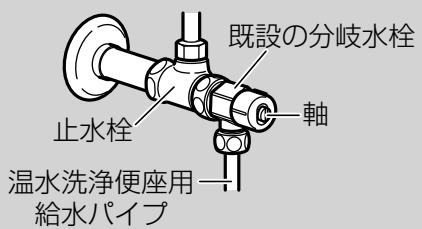
- P.12  
本体を取り付ける

既設の温水洗浄便座から取り替える場合

# 分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

●分岐水栓がタイプⒶの場合は、止水栓を元に戻す必要があります。専門業者に依頼してください。

既設の分岐水栓が  
下図のタイプⒶ



【準備】水道の元栓を閉める

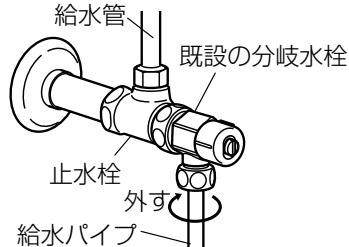
- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。
- 本体取り付け完了後、全開にしてください。



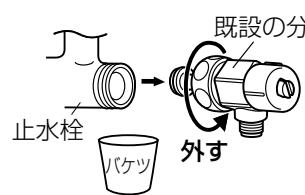
★は、同梱部品です。  
Ⓐは、サービスルート扱い(別売品)です。

止水栓を元に戻す場合

① 給水パイプを外す

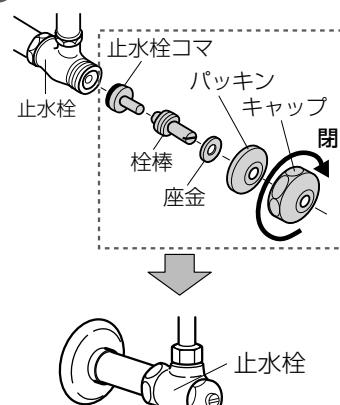


② 既設の分岐水栓を止水栓から外す



●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

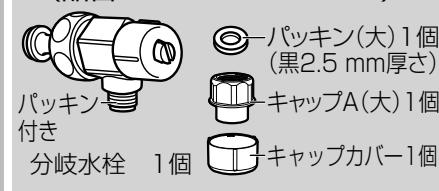
③ 止水栓を元にもどす



④ 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す

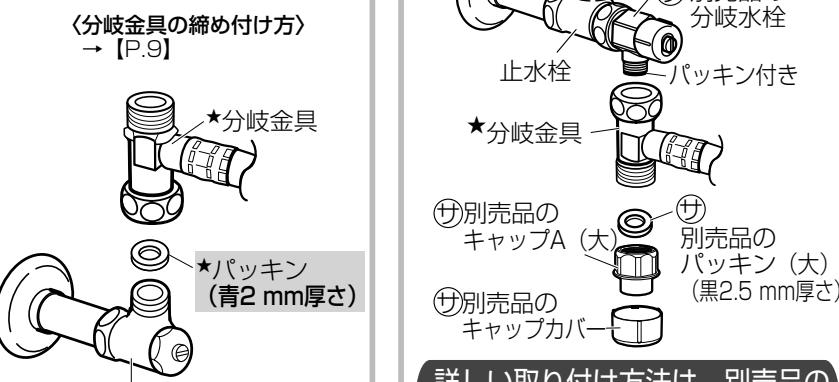
別売分岐水栓・キャップセットを購入いただき、取り付けができます。

Ⓐ別売品  
別売分岐水栓・キャップセット  
(品番: ADL531A-B4JS)

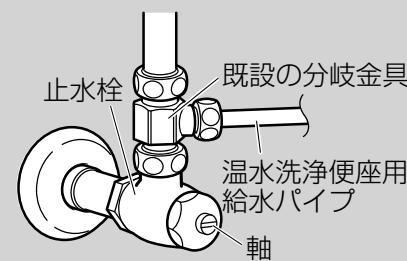


① 別売品の分岐水栓を取り付ける  
② 本体同梱の分岐金具を取り付ける

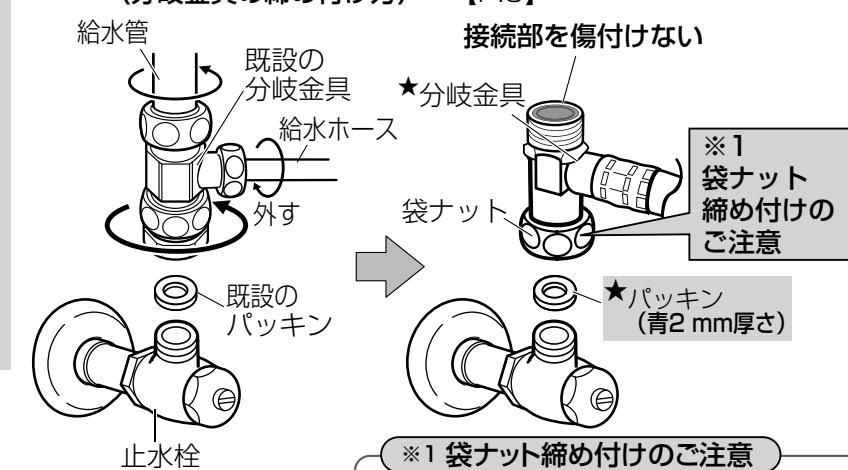
⑤ 分岐金具を止水栓に取り付ける



既設の分岐金具が  
下図のタイプⒷ



① 給水管を外してから、同梱の分岐金具に交換する  
(分岐金具の締め付け方) → [P.9]



●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

② 給水管の取り付け

●既に給水管がフレキシブルパイプや給水ホースで接続されている場合は、そのまま使用できます。  
同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。

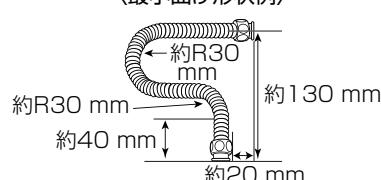
口径: G1/2

お願い

フレキシブルパイプは

- 曲げ過ぎない
- 何度も曲げ直さない  
(折れことがあります)
- 切断しない
- 長さが合わないときは、別売品または、ホームセンターなどで市販品を購入してください。

最小曲げ形状例

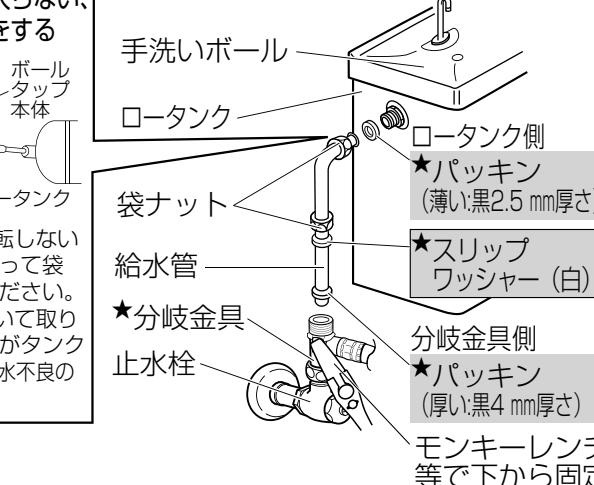
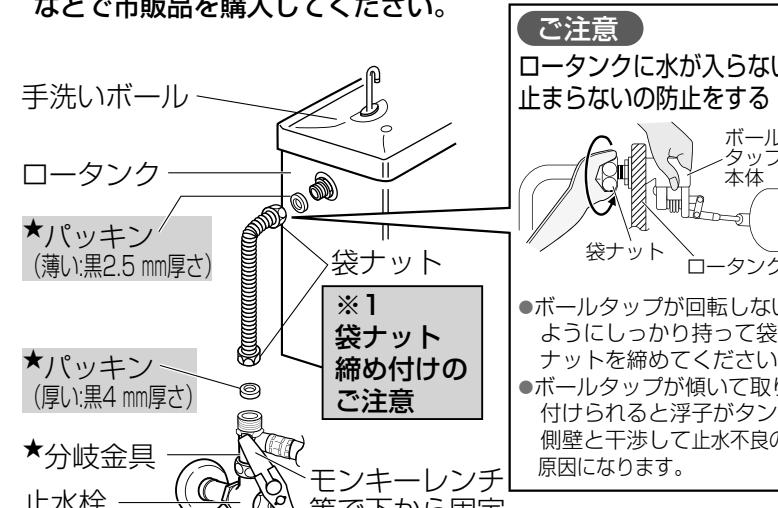


既設の給水管を使用する場合  
給水管にストレーナー(フィルター)がある場合

●給水管が短い場合は、専門業者にお問い合わせください。(市販の給水管等の購入が必要です)

●分岐金具側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。(フレア加工している場合は、切断長さに注意)

●分岐金具への差込代は約10 mmを必ず確保する。



# 本体を取り付ける

## 下からナット締めができる便器の場合

### 【準備】既設便座を取り外す

- ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
- ナットとパッキンを取り外す。

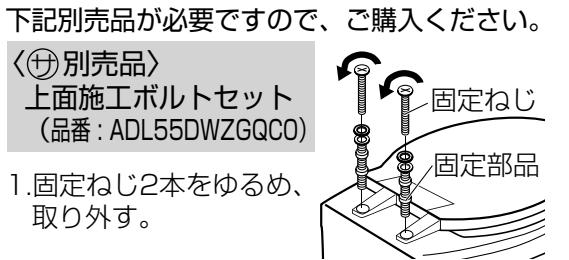
(ナットがさびてゆるまないとときは)

- 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
- 取れないときは、金のこでボルトを切断する。



④は、サービスルート扱い（別売品）です。

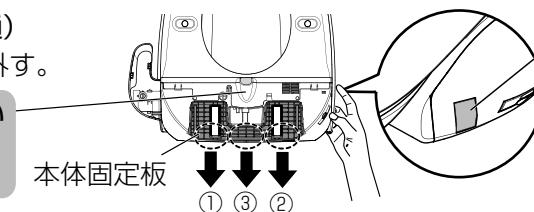
## 下からナット締めができない便器の場合



### ① 本体固定板を取り外す（共通）

本体裏面より本体固定板を取り外す。

ノズル収納部は絶対に押さないでください。  
(ノズルが出なくなる原因)



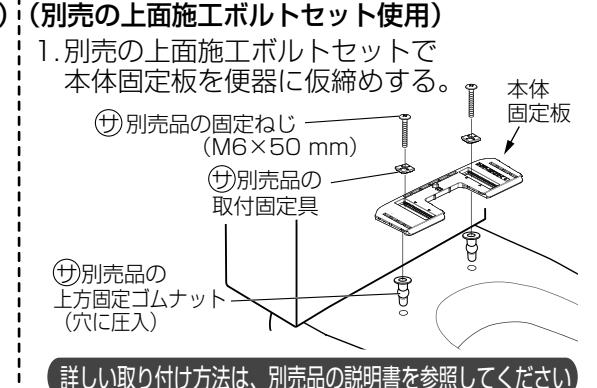
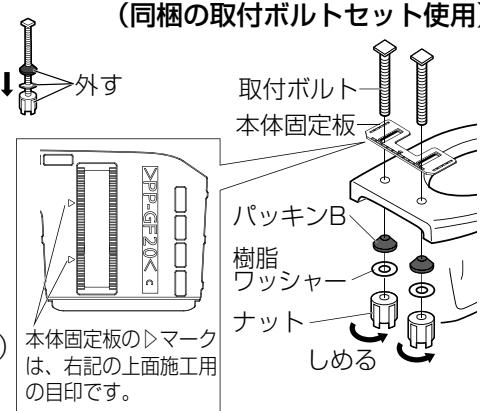
#### 本体脱着ボタン（グレー色）

- 本体脱着ボタンを奥までしっかり押し込みながら、本体固定板を取り外す。  
(①、②、③の順に矢印方向にすらし、取り外す)

### ② 型紙を使用し、本体固定板を取り付ける

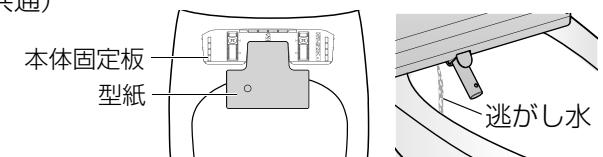
- 取り付けボルトより各部品を取り外す。

2. 本体固定板が動く程度にナットを手で回し、軽く締める。（取付ボルトが長すぎるときは金のこなどで適当な長さに切断する）



- 型紙を使用し、本体固定板の取り付け位置を決める。（共通）

●型紙の穴が便器でふさがると、本体の逃がし水が便器内に流れず便器外に水漏れする原因となります。本体取り付け位置を変更した場合も型紙を使用して再確認してください。



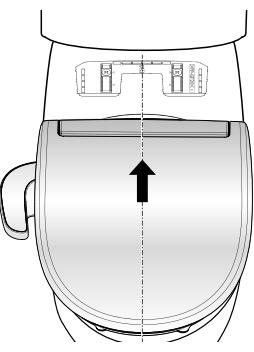
- 型紙を取り外し、本体固定板が動かないよう本締めする。（共通）

**お願い** 工具でナットを締め付けてください。

別売の固定ねじをプラスドライバーで締め付ける。

### ③ 本体を取り付ける（共通）

- 本体固定板の中心と本体の中心を合わせる。
- 本体後部を少し浮かし、便器面から本体をすべらせ、「カチッ」と音がするまで押し込む。
- 電源コードをはさみ込まないようにしてください。



本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがあります。異常ではありません。

本体を便器に施工後、本体を軽く手前に引っ張ってしっかりと固定されていることを確認してください。

# 給水ホースを取り付ける

## 重要：給水ホースを正しく取り付けないと重大な水漏れの原因

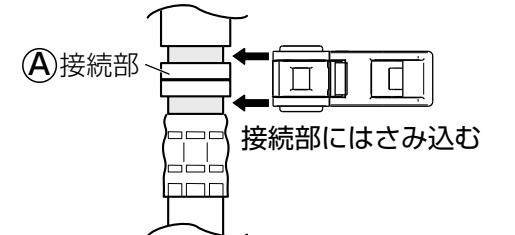
### ① 本体への接続（作業がやりにくい場合は、本体を手前に引き出す【P.12】）

- 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。

**ご注意** 給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

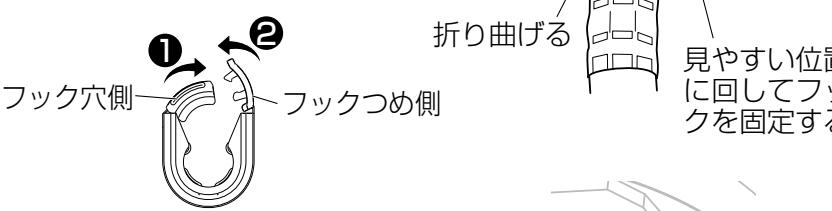
**お願い** 既設の給水ホースは使用しないでください。  
(劣化により水漏れの原因)

- クイックファスナーを給水ホースと本体接続部に確実に奥まで差し込む。  
(「パチッ」と音がするまで差し込む)



- フックを確実に固定する。

- フック穴側を折り曲げる
- フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する  
(「パチッ」と音がするまで固定する)



- 給水ホースが回らないように持ってクイック

ファスナーが軽く回ることを確認する。  
\*軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けされていません。

### お知らせ

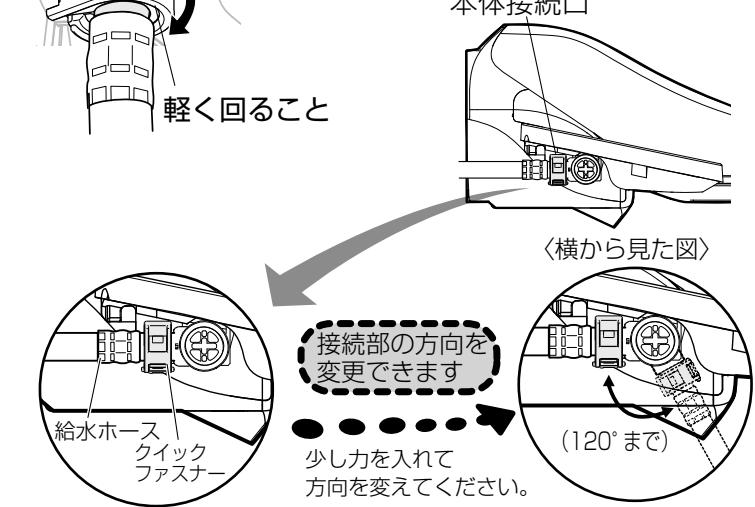
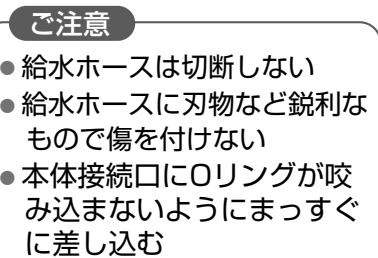
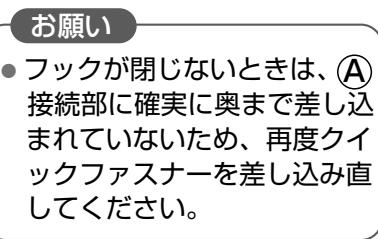
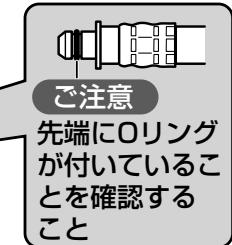
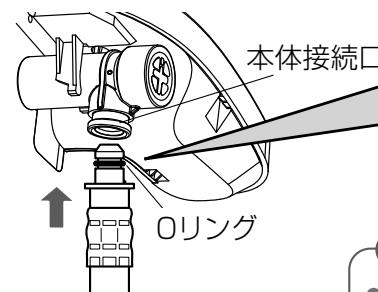
給水ホースが短い場合は、別売品を販売店でご購入してください。

1300 mm用 AD-DL531-13  
2500 mm用 AD-DL531-25

別売品は、給水ホースと分岐金具が別々になっています。分岐金具側もクイックファスナーで接続するようになっています。

### ② 必ず確認

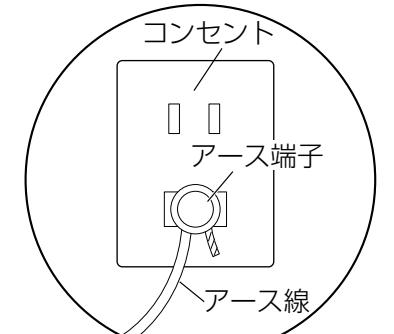
- クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。
- 給水ホースを引っ張って、本体接続口から抜けないことを確認してください。



# アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

(アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください)



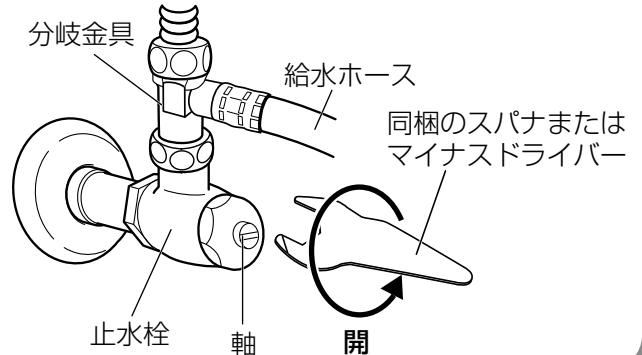
上図はアース付きコンセントの一例です。

# 止水栓を開ける

各接続部がきっちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は十分に開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度にまたは、洗浄中の通水音が気にならない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。

十分に開いていないと低流量異常  
(温水ランプが全点滅) が発生する  
場合があります。



# クッションを取り付ける

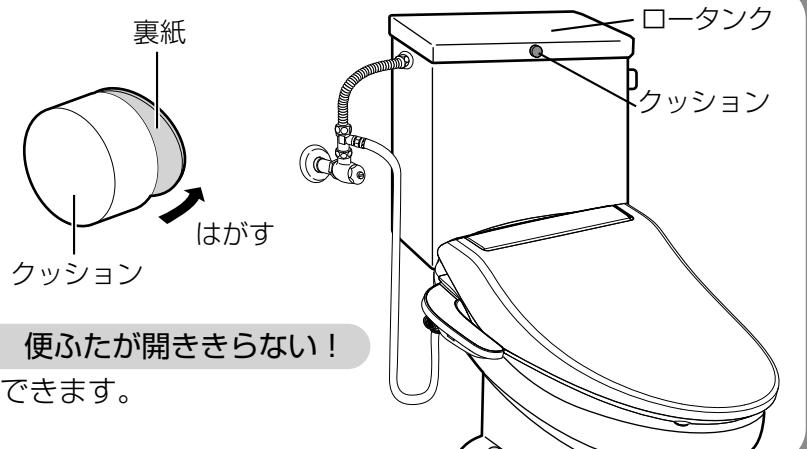
(DL-RN40のみ)

便ふたがロータンクに強く当たる場合は同梱のクッションを右図を参考に貼り付けてください。

- 貼る前に、汚れ、水分などを拭き取ってから貼り付けてください。

便ふたが勢いよく開き、バウンドする！ 便ふたが開ききらない！

- 便ふたを開く強さを変更することができます。  
【取扱説明書 P.26】

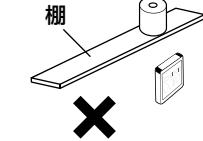


# リモコンを取り付け、電源を入れる

- 本体の受信部側の壁などに取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。



リモコンと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。



## ① リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる

■乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【P.2】を必ずお守りください。

## ② 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信確認をする

### ① 電源プラグを差し込む

- 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する。

### ② リモコンを壁面の取り付けたい位置に合わせ、約10分以内におしりまたはビデスイッチを押す

- 本体の電源ランプが1回点滅、着座ランプが3回点滅と同時に本体から「ピピピ」と音がします。  
(ただし、着座センサーが検知している場合は「ピッ」と音がします)

送受信可能な位置です。

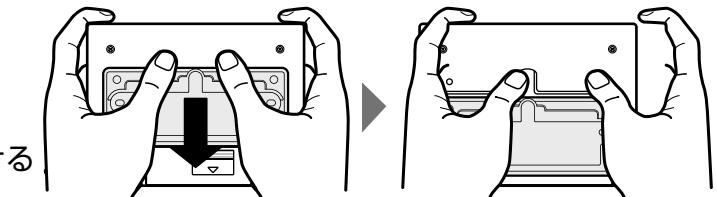
◆電源ランプが1回点滅、着座ランプが3回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。

## ③ リモコン（リモコンホルダー）を壁面に取り付ける

### ① リモコンからリモコンホルダーを外す

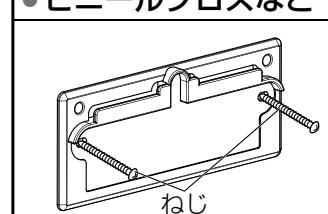
- リモコンホルダー上を指で押さえながら方向にずらして外す。

### ② リモコンホルダーを壁面にねじで取り付ける



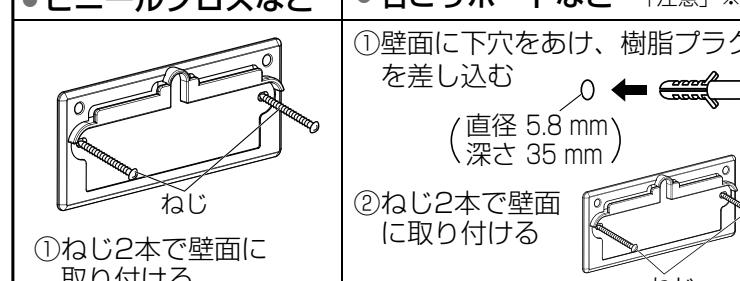
#### A.ねじ止めできる壁材

- 各種合板
- ビニールクロスなど



#### B.ねじ止めできない壁材

- タイル
- コンクリート
- 石こうボードなど

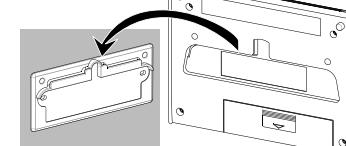


※1 石こうボードの厚みは13mm以上を想定しています。13mm以下の石こうボードでは同梱の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

### ③ リモコン裏面の溝を合わせて上から差し込む

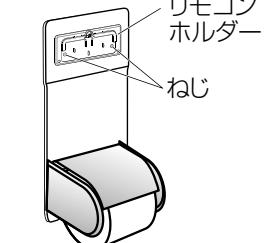
### ④ リモコンが取り外せることを確認する

(電池交換が必要なため)



#### ねじ止めできない場合

別売品のビューティ・トワレ用リモコンプレートでペーパーホルダーに取り付けできます。販売店でご購入してください。  
別売品ビューティ・トワレ用リモコンプレート  
品番：AD-DLRCP1-F



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

2連式のペーパーホルダーには取り付けできません。

# ひとセンサーを取り付ける (DL-RN40のみ)

## ひとセンサーの検知範囲について

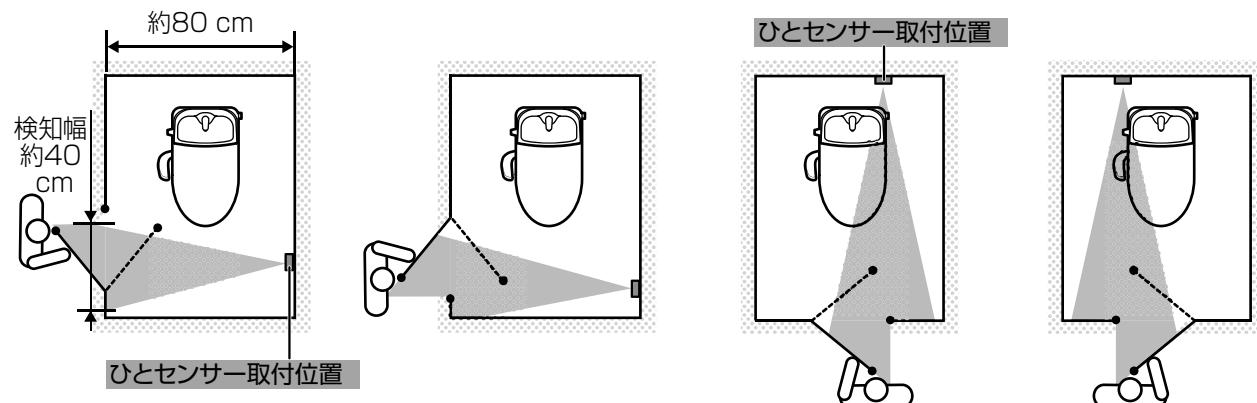
- ひとセンサーは人(発熱体)の動きを検知し、便ふたの開閉を自動で行います。

### 〈トイレのパターン別、取付位置例〉

- ひとセンサーを正しく作動させるために、トイレ内に入った時、人を確実に検知する位置に取り付けてください。ひとセンサーが人を検知すると本体から「ピッ」という受付音がします。
- ひとセンサーと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。
- ひとセンサーを便座の方向に向けて取り付けると誤作動する場合があります。

扉の対向面の壁に取り付けてください。(扉が引き戸の場合も同様)

- トイレの幅が約80 cmの場合、ひとセンサーの検知幅は約40 cmになります。

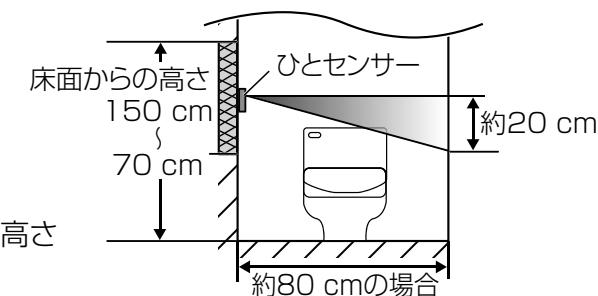


### 取り付け高さの目安 (どのパターンでも共通です)

XXXXXX 取り付けるのに適した範囲です。

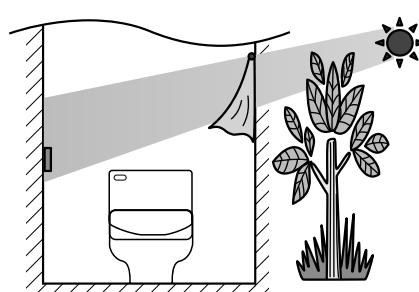
ひとセンサーの検知範囲の目安です。

- ご使用になる方の身長に合わせて、取り付け高さを決めてください。



### ご注意 次のような場所に取り付けるのは避けてください。

- 直射日光の当たるところに取り付けた場合、カーテンや窓の外の木々の揺れで、直射日光がさえぎられると、誤作動することがあります。

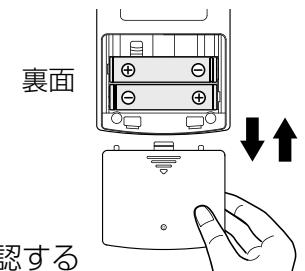


### お知らせ

- ひとセンサーが人を検知すると、便ふたを自動で開きます。室温が30 °Cを超えた場合、直射日光が当たった場合、誤作動することがあります。(人と周囲の温度差が少ないと、熱の変化を検知しにくいため)
- トイレで暖房器具などを使用すると、ひとセンサーが温風の熱を検知して誤作動することがあります。

## 1 ひとセンサーの電池ふたを開け、乾電池を入れる

■乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【P.2】を必ずお守りください。



## 2 ひとセンサーと本体の送受信確認をする(位置決め)

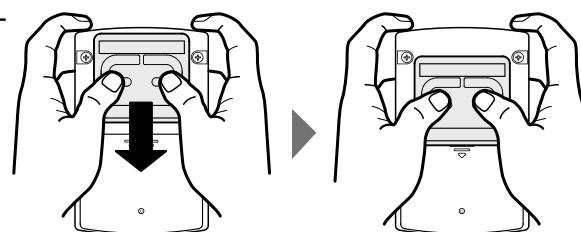
- 本体操作部の便ふた自動開閉スイッチが「入」になっていることを確認する
- 便ふたを閉じ、一旦トイレから外に出る
- 1~2分以上経過後、トイレに入り、便ふたが開くことを確認する

### お知らせ

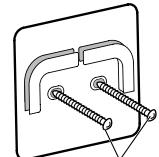
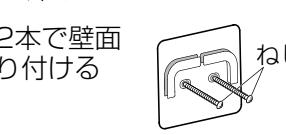
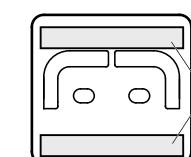
- ひとセンサーが人を検知すると、本体から「ピッ」と音がします。

## 3 ひとセンサーholdeRを壁面に取り付ける

- ひとセンサーからひとセンサーholdeRを外す
  - ひとセンサーholdeR下を指で押さえながら下方向にずらして外す

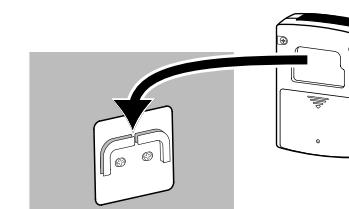


### ②ひとセンサーholdeRを壁面にねじで取り付ける

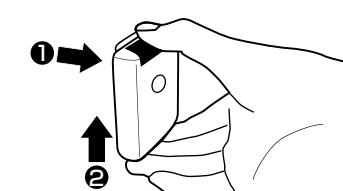
A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ツルツルで固い平らな壁材(タイル)
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種合板</li> <li>ビニールクロスなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイル</li> <li>コンクリート</li> <li>石こうボードなど</li> </ul> <p>「注意」※1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁面に下穴をあけ、樹脂プラグを差し込む (直径 5.8 mm) (深さ 35 mm)</li> <li>ねじ2本で壁面に取り付ける</li> </ul>
 <p>ねじ</p> <p>①ねじ2本で壁面に取り付ける</p>	 <p>ねじ</p> <p>②ねじ2本で壁面に取り付ける</p>	 <p>両面テープ (ひとセンサーholdeR裏面)</p>

※1 石こうボードの厚みは13 mm以上を想定しています。13 mm以下の石こうボードでは同様の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

### ③ひとセンサー裏面の溝を合わせて上から差し込む



### ④ひとセンサーが取り外せることを確認する(電池交換が必要なため)



ひとセンサーの上部を手前に引きながら上に引き上げる

# 試運転

## 1 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認する

(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)

給水接続部から水漏れがないことを確認する

## 2 本体操作部の **自動開閉** を「切」にする

## 3 本体梱包用のポリ袋などをはさむ

(便座と便器の間)

## 4 電源プラグが差し込まれていることを確認する

## 5 漏電テストスイッチを2秒以上押す

漏電検知機能が作動し、電源が切れます。

- 漏電テストランプ(赤)点灯。
- 電源ランプ(緑)消灯。

## 6 電源プラグを抜く

- 漏電テストランプ(赤)が消灯することを確認する。

## 7 電源プラグを差す

●電源ランプが約10秒間点滅後、点灯に換わります。

## 8 便座の左後部を押しながら(着座ランプ点灯)

リモコンの **おしり** または **ビデ** を押し

ポリ袋の上から手をあて温水が出ることを確認する

(温水が出ない場合は、本体操作部の **温水** で設定温度を切り換えてください)

- 脱臭が始まります。(作動音がします)

- 止めるときは **停止** を押す。  
(ノズルが戻りノズルを洗浄します)

〈便座の左後部を押さずに「おしり」または「ビデ」を押した場合〉

→着座検知しないと「ピピピ」と音がし、動作しません。再度、手順 8 から試運転を行ってください。

## 9 便座温度が設定されることを確認し、約5分待つ

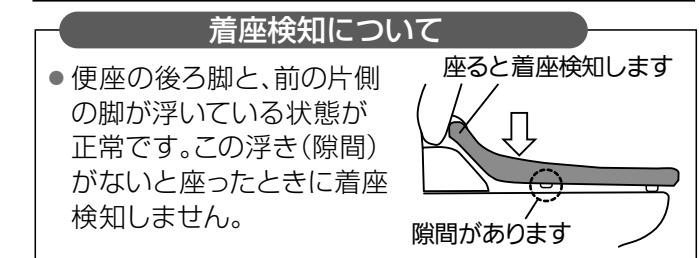
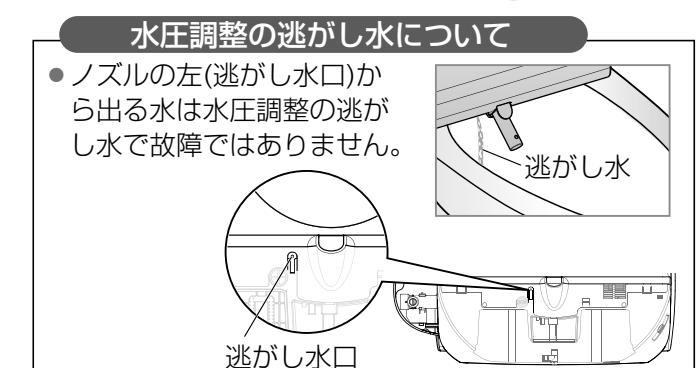
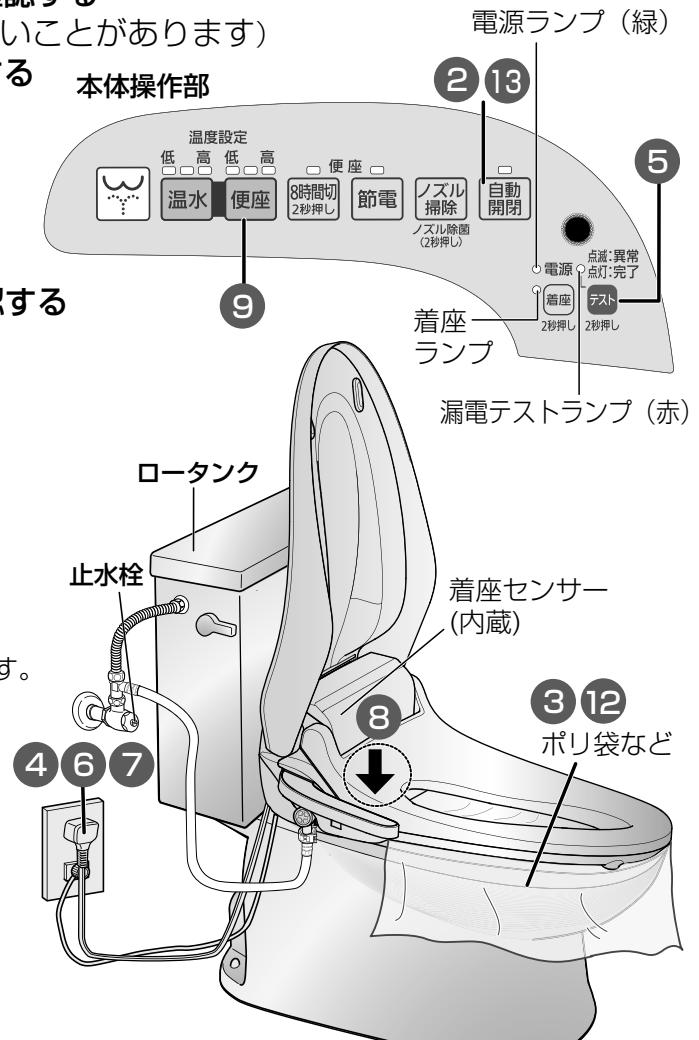
## 10 便座を手で触り、あたたかくなっていることを確認する

## 11 取扱説明書に従って、おしり・ビデ洗浄など機能の確認をする

## 12 ポリ袋を外す

## 13 本体操作部の **自動開閉** を「入」にする

- お知らせ**
- 漏電テストランプが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、工事店または販売店へ連絡してください。
  - 便ふたや便座の上から押さえると、着座ランプが点灯する場合があります。  
また、その状態で洗浄スイッチを押した場合、洗浄水が出ます。



# こんなときは

## 現象

本体操作部の温水温度ランプが全点滅する

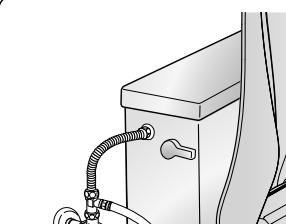


洗浄水が出ない  
洗浄強さが弱い

ロータンクの水が入らない、止まらない

手洗いボールから水はねする

通水音(シュー)がする



電源が入らない

(DL-RN40のみ)  
ひとセンサーが検知しない

天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する

## 施工後の注意

凍結するおそれのある場合や長期間(1週間以上)使用しない場合は、水抜をしてください(取扱説明書「凍結予防のしかた・長期間使用しないときは」参照)

## 考えられる原因と処置方法

参照ページ

水道の元栓、止水栓を十分に開き、電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う

18

掃除する

取扱説明書

水道の元栓を全開にする

10

止水栓を十分に開く

14

ロータンクに給水中

—

ロータンク内の浮子がゆがんでいる

11

水圧が高く給水量が多い

14

給水ホース先端のOリングにゴミが付着

13

ナットの締め付け力が不足

—

締め過ぎによるパッキンなどのずれ

11



確実に固定する

13

漏電テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動(漏電テストランプが点灯)

18

電源プラグを抜き漏電テストランプが消灯してから電源プラグを差し込む

電源プラグ

●人がいても体の動きがない  
●電池の入れ忘れ

16~17

●体を動かしてください  
(センサーは熱の変化を検知する)  
●電池を入れる

取扱説明書「保証とアフターサービス」の修理ご相談窓口にご連絡ください